

流通経大で学ぶ「ロジスティクス」 「スポーツ」を届ける

特別シンポジウム「スポーツとロジスティクス」で発言する矢野裕児教授



ロジスティクスとは

矢野教授に「スポーツとロジスティクス」について高校生や大学生にも分かりやすく説明してもらった。

まず、ロジスティクスとは何か。「物流」と同義語と考える人が多いだろうが、違うという。矢野教授は「どちらも物の流れですが、ロジスティクスは顧客のニーズに合わせてどうやって物を流すかという事です。物を輸送するだけではない。顧客のニーズに対応する。お客さんが欲しいものが来ないと意味がない。つまり物を作るところからお客さんに届くまでの流れです。」

どんな業界にもある

元は軍用語だった。矢野教授は「戦場における後方からの支援」です。戦う最前線に何をどう送るか。必要なものを必要なタイミングで適切に送る。不要な物を送っても、タイミングがずれても意味がないです。今はビジネス用語として定着しています。どんな業界でもロジスティクスがあります。メーカー、通販、コンビニ。新聞も記事を書くだけでは読者の元には届きません。

五輪は世界最大ロジ

スポーツにもある。矢野教授は「スポーツのロジスティクスは難しいです。顧客がたくさんいる。選手、観客、販売店、報道陣。それぞれニーズの違う人々が同じ時間と同じ場所に集まる。東京五輪は世界最大のロジスティクスの場と云っていい。」

海外からも人や物が集まる

海外からも人や物が集まる。矢野教授は「特殊な物流も多くなります。競技用の馬、大量のライフル、ヨット、ボート。これらは代替が利かないですからね。さまざまな人や物の流れでイベントは成り立っています。」

「社会の仕組み」とも

「社会の仕組み」とも。矢野教授は「そう考えると社会の仕組みといっている者だけでは成り立たない。学生はよくマーケティングや商品開発など華々しく見える仕事をやりたがりますが、世の中はさまざまな流れでできています。本学では毎年、企業から約80人の方を講師に招き授業をしていただき、ビジネスの成り立ちを学んでもらいます。」

「スポーツ」にも大きな関わりがある

「スポーツ」にも大きな関わりがある。矢野教授は「スポーツの物流はこれまでその場その場で対応し、体系付けて検討してこなかったと思う。まだ非効率な部分もあり、おもしろい分野でしょう。学生は、スポーツを通してビジネスも学べるといえます。」

「広がり」ある分野です

今後「スポーツとロジスティクス」は研究課題になるのか。矢野教授は「スポーツ健康科学部と連携しているという話も出ています。私の属する流通情報学部では「地域とロジスティクス」なども研究しています。広がりがある分野なので、ぜひ、ロジスティクスに興味を持ってもらいたいですね。」

参戦、観戦、運営…あらゆるシーンで関わり

◆流通経済大学 1965年(昭40)開学。現在は9学部9学科5大学院。研究科を擁し、学生数は約5000人。4万人を超える卒業生は、ビジネス界はもとより、公務員、教員など多方面で活躍。多くのプロスポーツ選手も輩出している。17年度大学選手権優勝の男子サッカー部、関東大学リーグ優勝3回、男子ラグビー部、東京新大リーグ18年度秋季リーグ優勝の硬式野球部、日本学



ラグビーの指導をする小沢



参加者にポッチャの指導をする学生たち



食事を楽しむ参加者

「人・物・金」情報の調達 スポーツ健康科学部の学生が 実戦でロジスティクスを体感

さん(3年)は「人、物、お金、情報のどれが欠けても良いイベントはできないと身をもって学びました」と語った。

三浦崇寛さん(同)は「自分たちで決断し、そのために必要な成功までのプロセスを考える力を身につけることができた。それが一番の成長です。永井卓太さん(同)は「参加者に満足してもらいたい気持ちだが、イベントの企画

運営で大切だと感じた。今後の進路に生かしたい」と感想を口にするなど、貴重な体験になったようだ。

子供スポーツキャンプ

スポーツ健康科学部でスポーツマネジメントをテーマに取り組む西機真准教授のゼミでは1月12日から14日にかけて、龍ヶ崎キャンパスで子どもがスポーツを体験するキャンプを実施した。卒業生でもあるラグビー日本代表の小沢大(29)、元Jリーガー阿部吉朗氏(38)、女子体操日本代表監督でもある流通経大の田中光教授(46)らが講師を務めた。同キャンプは毎年、全国でスポーツ振興に取り組み「一般社団法人ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーション(USF)」とトップアスリートを招いて開催している。今回は小学3～6年生の60人が参加した。

学生たちは半年前から準備を始める。キャンプの内容を企画し、「人」「物」「金」「情報」といった経営資源を調達しなければならぬ。準備を重ねても、食事や布団の数が合わない、プログラムが時間通りに進まないなどのト

日通旅行 土岐 温史さん

流通経済大学社会学部国際観光学科を卒業した土岐(とき)温史さん(44)は、日通旅行株式会社に勤め、「スポーツとロジスティクス」を実践している。営業第五課係長で「スポーツデスク」



チームと同行…時には「スタッフの一員という気持ちです」

の肩書もある。「例えば社会人や大学、高校の野球チームの遠征に同行するなど、スポーツ関係の仕事は多いです。航空機やバスの予約や弁当の手配、道具の輸送など、選手やスタッフ、道具の移送、さらには移動に関わるスケジュール管理が重要な仕事になる。流通経大柏ラグビー部が全国高校ラグビーに出場する際は花園まで同行している。「勝敗によって予定が変わるので大変です。特に帰路の予定は「もうスタッフの一員という気持ちです。添乗員としてプレッシャーも感じますよ」。後輩に向けて「スポーツとロジスティクスを学べば、スポーツとの関わりが広がるように思います」と話していた。



0、新松戸キャンパスは千葉県松戸市新松戸3の2の1。野尻俊明学長。問い合わせは入試センター100120・2971141